

# 消火器取り扱い訓練

## ～指導要領～

### 1 準備するもの

- ・消火器
- ・カラーコーンなど（火の代わりに的となる物）

### 2 指導のポイント

- (1) 取り扱いは簡単であることを伝える（3ステップ）
- (2) あくまでも初期消火用であり、目安として天井まで届いている火は消せない
- (3) 周りに火事であることを伝える
- (4) 119番通報を忘れずにおこなう
- (5) 火の元（燃焼物体）を狙う

### 3 指導要領

#### ～導入～

指導者：今から消火器の取り扱い訓練をおこないます。

皆さんの家には消火器が置いてありますか？

また、職場等に置いてある消火器がどこにあるのかを知っていますか？

取り扱い方法を知っていても家に消火器が無かったり、職場に置いてある消火器の位置がわからなかったりしたら意味がありません。

火は数分もあれば家をすべて焼いてしまいます。

消防車が到着する前に大切なものがすべて燃えてしまうかもしれません。

大事なことは「火が出たらすぐに消す」こと。

そのために大切なことは、「消火器を置いておく」ことと、「どこに消火器が置いてあるのかを把握しておく」ことです。

#### ～消火器の説明～

指導者：（消火器を皆に見せながら）

みなさんは消火器の能力を知っていますか？

例えばコンセントから火が出ていた場合、この消火器は使えるのでしょうか？

例えば油が燃えている場合、この消火器は使えるのでしょうか？

消火器には取り扱い方法が書いてあります。

この消火器の場合はここです。

白い丸が普通火災（木、紙など）

黄色い丸が油火災

青い丸が電気火災です。



つまり、この消火器は普通火災、油火災、電気火災に有効だということです。

では、消火器からは何が出てくるのかを知っていますか？  
正解は粉末です。

粉末の届く距離や出ている時間を知っていますか？  
粉末の届く距離は約 5 m、しかし有効に消火させるには、約 3 m まで燃えているものに近づかなくてはなりません。  
また、粉末が出ている時間は約 15 秒～20 秒です。  
慌てずに落ち着いて消火するようにしましょう。

屋外では風向きにも注意し、風上から消火するようにしましょう

### ～消火方法～

指導者：消火器の能力についてお話をしました。

では、実際に使うためにはどうしたら良いのでしょうか？

普段消火器を使わないため、消火器の使い方を難しく感じている人が多くいます。  
皆さんの中にもそう感じている人はいませんか？

しかし、そんなことはありません。  
実際に 90 歳のおばあちゃんが使って、火事を未然に防いだ事例もあります。

消火器の使い方はたったの「3ステップ」です

- 1 ピンを抜く
- 2 ホースの先端を持つ
- 3 レバーを握る

たったこれだけです。  
覚え方として「1ピン 2ホース 3レバー」と覚えましょう。

ポイントはホースの先端を持つこと。  
ホースの根元を持つと、消火している最中にホースが暴れてしまい危険です。  
また、火を狙うときは火の元（燃焼物体）を狙うようにしましょう。

～注意点～

指導者：注意する点として4つあります。

- 1 周りに火事であることを伝える
- 2 119番通報をする
- 3 逃げ道を確保しておく
- 4 目安として天井まで火が届いたら逃げる

消火器はあくまで初期消火用であることを忘れてはいけません。

火が大きくなり、消火器では消せなくなることを念頭に行動しましょう。

そのため、周りに知らせて逃げてもらい、消防署にも連絡をしてもらうことが大切です。

また、自分もすぐに逃げられるようにしましょう。

～実技～

指導者：それでは実際にやってみましょう。